

研修会名：理学療法士のための画像の見方（四肢）

<研修概要>

日 時： 2019年5月25日（土）
時 間： 研修1 9：00～12：00
会 場： 徳島文理大学9号館 5階

大会参加費に加えて
予約費用が必要

研修形態	講義+演習		
予約申し込み	必要	予約定員	100人
予約費用	2000円		
無料聴講	なし	聴講定員	0人

講 師： 浅野 昭裕 氏（中部学院大学）

<研修内容>

もうすぐ理学療法士養成校で医療画像を学ぶ時代になります。数多くの医療画像の中で単純X線画像は運動器の領域では不可欠であり、診断に役立ちます。しかし、理学療法士は診断ではなく、骨を映す画像から筋や靭帯などの軟部組織を読み、機能障害の解釈に役立てます。例えば骨折形から受傷時に加わった力の方向を推測できたなら、その力により損傷する軟部組織も推測でき、それらを保護したり拘縮の予防をしたりできるのです。

この研修では主に四肢外傷の単純X線画像を用い、理学療法士としての読影法を学びます。参加者に割り当てられたモニターを見ながら、個々で考えたり、数人で検討したりしながら理解を深められるように進めます。間違いやすい画像や臨床ならではの画像を考えながら読影していきましょう。

超音波画像の読影についてもお話しします。リアルタイムに身体内部を映し出す超音波画像をどう利用すればいいのか？ 未来の運動療法の形を提案します。